

令和 2 年 3 月 13 日  
国土交通省 中部地方整備局  
静岡国道事務所

## 静岡県内の渋滞対策の今後の進め方を議論しました ～令和元年度 第 2 回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会を開催～

### ◆お知らせ内容

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会（以下、協議会）では、静岡県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくための取組を継続的に行っています。

今回、渋滞対策の進捗及び最新の ETC2.0 データによりモニタリングした渋滞状況を確認するとともに、今後の渋滞対策について確認しました。

### ● 議 事

- ・静岡県内の渋滞対策の進捗について
- ・実施した対策の効果・影響の検討について
- ・今後の渋滞対策について
- ・今後の主要渋滞箇所のモニタリングの考え方について
- ・災害時交通マネジメント検討部会について

※今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面決議としました。

### 資料

- ・別紙 1：静岡県道路交通渋滞対策推進協議会の概要、名簿
- ・別紙 2：議事要旨

※なお、会議資料は以下よりご確認ください。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/suisui/jutaikyo/>

### 1. 配布先等

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ、浜松市政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ

### 2. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長 こもり かずひろ 小森 和弘  
計画課長 さんじ つたえ 三治 伝

TEL 054-250-8900 FAX 054-252-5747

## 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会の概要

- ・「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」(以下「協議会」)では、静岡県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくための取組を継続的に行っています。
- ・平成24年度に、プローブデータをもとに道路利用者等の意見も踏まえて、「地域の主要渋滞箇所」を選定・公表しました。
- ・平成25年度以降、選定した主要渋滞箇所における渋滞対策の進捗の確認、最新のデータに基づく渋滞状況のモニタリング、新たな渋滞対策について検討を進めています。

## 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 名簿

	所属	役職
◎	中部地方整備局	静岡国道事務所長
	〃	建政部 都市整備課長
	〃	道路部 道路計画課長
	〃	道路部 地域道路課長
	〃	道路部 交通対策課長
	〃	沼津河川国道事務所長
	〃	浜松河川国道事務所長
	中部運輸局	交通政策部 計画調整官
	〃	静岡運輸支局長
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課長
	〃	交通基盤部 道路局 道路整備課長
	〃	交通基盤部 道路局 道路保全課長
	〃	交通基盤部 都市局 都市計画課長
	〃	交通基盤部 都市局 地域交通課長
	〃	交通基盤部 都市局 街路整備課長
	静岡市	建設局 道路部長
	〃	都市局 都市計画部 交通政策担当部長
	浜松市	土木部長
	〃	都市整備部長
	静岡県警本部	交通部 参事官兼交通企画課長
	〃	交通部 交通規制課長
	中日本高速道路(株)東京支社	総務企画部 企画調整課長
	〃	保全・サービス事業部 交通技術課長
	〃	保全・サービス事業部 交通管制課長
	静岡県道路公社	常務理事
	静岡県トラック協会	専務理事
	静岡県バス協会	専務理事
	静岡県タクシー協会	専務理事
	事務局	
	中部地方整備局	静岡国道事務所 計画課
	中部運輸局	静岡運輸支局
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課
	静岡県警本部	交通部 交通規制課
	静岡市	建設局 道路部 道路計画課
	浜松市	土木部 道路企画課

# 令和元年度 第2回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

## 議事要旨

### 1. 議事

(審議)

- (1) 静岡県内の渋滞対策の進捗について
- (2) 実施した対策の効果・影響の検討について
- (3) 今後の渋滞対策について
- (4) 今後の主要渋滞箇所のモニタリングの考え方について
- (5) 災害時交通マネジメント検討部会について

(報告)

- (1) 道路交通アセスメント制度について

### 2. 議事要旨

- ・ 前回以降の静岡県内の渋滞対策の進捗を確認した。
- ・ 東名日本平久能山 SIC、大型店舗における事業者負担による渋滞対策など、実施した渋滞対策の効果・影響を確認した。
- ・ 令和2年2月14日に供用した東駿河湾環状道路 大場・函南 IC～三島玉沢 IC 間の付加車線については、引き続き、対策の効果・影響を確認する。
- ・ 国道1号長沼交差点において、東名日本平久能山 SIC の開通後、周辺の交通状況は悪化傾向にあるが、SIC の利活用推進により更なる悪化が懸念されるため、今後、要因分析、対策の必要性・方向性の具体化を進める。
- ・ 国道139号西富士道路広見 IC 北進オフランプにおいて、左折先の岳陽中東交差点から本線まで渋滞・滞留が続いていることを踏まえ、今後、渋滞の要因分析、対策の検討を進めることを確認した。
- ・ 国道1号静清バイパスにおいて、IC 交差点を先頭とするオフランプの本線滞留が発生しているとともに、1車線のランプを2車線利用している事例が確認されたことを踏まえ、今後、渋滞対策の検討を進めることを確認した。
- ・ 今後の主要渋滞箇所のモニタリングの考え方について確認した。
- ・ 災害時交通マネジメント検討部会の設立することについて確認した。